

もの知り

こどもタイムズ

こども

海水浴場で利用者の安全を守る「ライフセーバー」。福岡県新宮町の新宮海水浴場ではNPO法人「新宮ライフセービングクラブ」がボランティアで海水浴客の安全を守っている。メンバーや主に活動している同海水浴場は多くの子連れ客でにぎわう海で、僕も毎年行っている。五水とは①水温②水深③水底④水流⑤水質のこと、ここで、海で安全に遊ぶためには欠かせないものだという。

こども記者
たより福岡県新宮町・
新宮北小6年 いなば 稲葉 ゆうた 悠太特派員新宮ライフセービングクラブのみなさんと稻葉悠太特派員
(中央)

いだつた。海水浴客にしてほしくないことは、その消波ブロックより外側の海に行くこと。状況がよく分からぬため、漏れても気付かないという。ライフセーバーは、夏以外も毎日筋力トレーニングをしたり、ウエットスーツを着て海で訓練をしたりするのだという。新宮ライフセービングクラブの活動拠点や道具には新宮町が助成金を出してくれている。しかし田原代表によると、福岡県の海水浴場にはライフセーバーが少ないのだそうだ。訓練は必要なが少ないので、田原代表によると、福岡県のためだそうだ。要だが誰でもなれる。今は中学2年生のライフセーバーもいるといふ。海の見守りだけでなく、海岸のこみ拾いや地域の子ども向け水泳教室などもしている。地域のために労を惜しまない姿に、僕も誰かのために行動できる人になりたいと思った。

海水浴客の安全守るライフセーバー

取材中、ライフセーバーが海を見守る「やぐら」にのぼらせてもうと、海全体を見渡すことができた。これなら海水浴客の安全を確認できる。双眼鏡を使うと消波ブロック近くまで見えた。その景色はとてもきれ

いた。海水浴客にしてほしくないことは、その消波ブロックより外側の海に行くこと。状況がよく分からぬため、漏れても気付かないという。ライフセーバーは、夏以外も毎日筋力トレーニングをしたり、ウエットスーツを着て海で訓練をしたりするのだといふ。新宮ライフセービングクラブの活動拠点や道具には新宮町が助成金を出してくれている。しかし田原代表によると、福岡県の海水浴場にはライフセーバーが少ないのだそうだ。訓練は必要なが少ないので、田原代表によると、福岡県のためだそうだ。要だが誰でもなれる。今は中学2年生のライフセーバーもいるといふ。

田原幸佑代表は、活動の理由を「誰かの役に立ちたいから」と語る。仕事にやりがいを感じるときは、「ありがとう」と言われた時だそうだ。

ひまわり

くじびきや
仲尾

夏休みの宿題どんなん



服部倫子記者＝小学4年の自由研究はタイ旅行とめた「タイ新聞」。紹介や言葉、現地でのつづっている

塾	スイミング
英語、英会話	
習字、かきかた	
ピアノ	
その他	
していない	

(人) 0 5

習い事

アンケートからは、多くが夏休み中も普日々を過ごしていた。